

令和7年度

学校園所連携活動報告



三田市教育委員会

令和7年度 学校園所連携推進の取組について

1 学校園所連携推進の方向性

市内全体及び中学校区ごとの学習面や生活面での課題を明らかにしながら、就学前から義務教育終了までを見通して、子どもたちの育ちと学びの連続性を重視した学校園所連携を推進する。

2 令和7年度の取組

(1) 令和7年度学校園所連携推進に係る研修会（実施済）

日 時：令和7年8月4日（月）14：30～16：30

場 所：広野市民センター 多目的ホール

対 象：小・中・特別支援学校教員

市内幼稚園、保育園所、認定こども園、小規模保育施設の職員等

内 容：講義「主体的・対話的に学ぶ子どもを育てる」

講師 兵庫教育大学 教授 鈴木 正敏 氏

(2) 中学校区単位の連絡会

- ・代表管理職が中心となり、管理職及び学校園所連携担当者により運営
- ・重点推進テーマをもとに各学校園所の取り組み等の協議
- ・中学校区としての取組の方向性やその具体について検討

3 学校園所の連携・接続の重要性について

幼稚園では、平成30年度から現行の幼稚園教育要領が実施され、小・中学校では改訂された学習指導要領が令和2年度（小学校）、令和3年度（中学校）から実施されている。幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、小・中学校学習指導要領には、校種間の連携について、具体的に記されている（参考資料参照）。

未来を生きる子どもたちの健やかな育成のために、学校園所の連携及び接続を効果的に進めるとともに、継続的に取り組むことが重要である。

※（参考資料）参照

☐ 幼稚園教育要領【資料1】

☐ 保育所保育指針【資料2】

☐ 幼保連携型認定こども園教育・保育要領【資料3】

☐ 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領
共通事項【資料4】

☐ 小学校学習指導要領【資料5】

☐ 中学校学習指導要領【資料6】

第1章 総則

【資料1】

第3 教育課程の役割と編成等

5 小学校教育との接続に当たっての留意事項

- (1) 幼稚園においては、幼稚園教育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を養うようにするものとする。
- (2) 幼稚園教育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、小学校の教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなど連携を図り、幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めるものとする。

第2章 保育の内容

【資料2】

4 保育の実施に関して留意すべき事項

(2) 小学校との連携

- ア 保育所においては、保育所保育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、幼児期にふさわしい生活を通じて、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うようにすること。
- イ 保育所保育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、小学校の教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、第1章の4の(2)に示す「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなど連携を図り、保育所保育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めること。
- ウ 子どもに関する情報共有に関して、保育所に入所している子どもの就学に際し、市町村の支援の下に、子どもの育ちを支えるための資料が保育所から小学校へ送付されるようにすること。

第1章 総則

【資料3】

第2節 教育及び保育の内容並びに子育ての支援等に関する全体的な計画等

(5) 小学校教育との接続に当たっての留意事項

- ア 幼保連携型認定こども園においては、その教育及び保育が、小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることに配慮し、乳幼児期にふさわしい生活を通して、創造的な思考や主体的な生活態度などの基礎を培うようにするものとする。
- イ 幼保連携型認定こども園の教育及び保育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、小学校の教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなど連携を図り、幼保連携型認定こども園における教育及び保育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めるものとする。

【資料4】

- | | |
|------------------|----------------------|
| (1) 健康な心と体 | (2) 自立心 |
| (3) 協同性 | (4) 道徳性・規範意識の芽生え |
| (5) 社会生活との関わり | (6) 思考力の芽生え |
| (7) 自然との関わり・生命尊重 | (8) 数量・図形、文字等への関心・感覚 |
| (9) 言葉による伝え合い | (10) 豊かな感性と表現 |

【資料5】

第1章 総則

第2 教育課程の編成

4 学校段階等間の接続

教育課程の編成に当たっては、次の事項に配慮しながら、学校段階等間の接続を図るものとする。

- (1) 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた指導を工夫することにより、幼稚園教育指導要領に基づく幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施し、児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるようにすること。

また、低学年における教育全体において、例えば生活科において育成する自立し生活を豊かにしていくための資質・能力が、他教科等の学習においても生かされるようにするなど、教科等間の関連を積極的に図り、幼児期の教育及び中学校以降の教育との円滑な接続が図られるよう工夫すること。特に、小学校入学当初においては、幼児期において自発的な活動としての遊びを通して育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されるよう、生活科を中心に合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行うこと。

- (2) 中学校学習指導要領及び高等学校学習指導要領を踏まえ、中学校教育及びその後の教育との円滑な接続が図られるよう工夫すること。特に、義務教育学校、中学校連携型小学校及び中学校併設型小学校においては、義務教育9年間を見通した計画的かつ継続的な教育課程を編成すること。

【資料6】

第1章 総則

第2 教育課程の編成

4 学校段階間の接続

- (1) 小学校学習指導要領を踏まえ、小学校教育までの学習の成果が中学校教育に円滑に接続され、義務教育段階の終わりまでに育成することを目指す資質・能力を、生徒が確実に身に付けることができるよう工夫すること。特に、義務教育学校、小学校連携型中学校及び小学校併設型中学校においては、義務教育9年間を見通した計画的かつ継続的な教育課程を編成すること。

三田市は、「第3期さんだっ子かがやき教育プラン（三田市教育振興基本計画）」において、次のような子どもを育てていくことをめざし、教育施策を進めてきた。

【三田市がめざす子ども像】

自分が好き、人が好き、このまちが好き、
夢に向かって歩むさんだっ子

- ◎自分や人を大切にし、誇りを持って生きる子
- ◎身近なことに興味関心をもち、課題と向き合い、深く学ぼうとする子
- ◎“ふるさと三田”のよさに気づき、まちを愛する子
- ◎人とのつながりの中で、何事にも粘り強く取り組む子
- ◎自分自身の生き方を考え、自らの可能性に挑戦する子

学校園所連携の推進にあたり、各中学校区が「三田市のめざす子ども像」を踏まえた重点推進テーマが達成できるよう各中学校区で連携を図り、評価と検証を行ったうえで改善しながら取り組んできた。

5 今後の取組について

本市では、令和4年度から令和8年度までの5年間の計画として、「三田市教育振興基本計画（第3期さんだっ子かがやき教育プラン）」を策定し、「夢を育て、人をはぐくむ学びのまち さんだ」を基本理念に掲げ、学校の役割として、学校園所連携接続の推進と小中一貫した教育の推進に取り組むこととしている。

就学前から中学校卒業まで、学校園所で「めざす子ども像」を共有し、交流活動等の連携を図ることで、発達段階に応じた学びとその連続性を確保してきた。今後も、これまで確立した学校園所連携の取り組みを継続的に進めることが重要である。

今後は、これまで培った学校園所連携を礎として、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」や義務教育9年間を見据えた各中学校区の「めざす子ども像」を共有し、その達成に向けてこれまでの取組を点検、精選したうえで重点推進テーマや取組内容を考え、教育活動を充実させていくことが必要である。

また、子ども同士の交流実践だけにとどまらず、それぞれの教育課程や教育実践などを交流し、小中一貫した教育課程を実践することで学校園所の教員同士の相互交流と相互理解を深めることで、学校園所連携、小中一貫教育の取組を一層加速させることが期待できる。

子どもたちの生きる力を育むため、学校園所が創意工夫して交流し、円滑な接続・連携が図れるよう推進していく。

中学校区 学校園所一覧		
長坂中学校	本庄小学校	みつば幼稚園
	広野小学校	
上野台中学校	志手原小学校	ありまふじ幼稚園
	小野小学校	
	高平小学校	
	母子小学校	
狭間中学校	武庫小学校	ゆうかりフレンズ 湊川短期大学附属北摂第一幼稚園 三田さち幼稚園
	狭間小学校	
八景中学校	三田小学校	
	三輪小学校	三田こばと保育園 よこやま保育園
	松が丘小学校	さんだのもり保育園
		三田虹の子保育園
		三田保育所
		三田幼稚園
		三輪幼稚園
		松が丘幼稚園
けやき台中学校	すずかけ台小学校	若草幼稚舎 湊川短期大学附属キッズポート保育園 湊川短期大学附属北摂中央幼稚園 三田けやき台認定こども園
	けやき台小学校	
富士中学校	富士小学校	
	弥生小学校	
	ひまわり特別支援学校	
藍中学校	藍小学校	あいの保育園 三田つつじが丘認定こども園 みつば幼稚園
	つつじが丘小学校	
ゆりのき台中学校	あかしあ台小学校	
	学園小学校	光の子保育園 三田あさひ幼稚園
	ゆりのき台小学校	湊川短期大学附属北摂学園幼稚園
		神戸親和女子大学附属親和幼稚園
		ほしのさと保育園

【基本理念】

【めざす子ども像】
自分が好き、人が好き、このまちが好き、夢に向かって歩むさんだっ子
夢を育て、人をはぐくむ学びのまち さんだ

三田の教育

【長坂中学校区】

テーマ「生活習慣の確立と主体的な学びの育成を目指して」
～表現力を磨き、自己肯定感を高め、夢を語れる子どもの育成～

【上野台中学校区】

テーマ「不登校生の減少を目指した連携推進」

【狭間中学校区】

テーマ「夢をえがき 確かな学力で たくましく生きる子ども」
・ほめて のばす 小中一貫教育のあり方に関する研究
～切れ目のない連携による児童生徒の自己有用感の向上をめざして～

【八景中学校区】

テーマ「人も自分も、学校園所もふるさと、大切にできる子」

【けやき台中学校区】

テーマ「よりよい人間関係を結ぶ力を育てる」
～あいさつの活性化～

【富士中学校区】

テーマ「保幼小中特の連続した発達や学びを支える教育の充実を
めざして」

【藍中学校区】

テーマ「夢や希望を語れる子の育成」
～夢や希望を語ることができる力の育成のために～

【ゆりのき台中学校区】

テーマ「「夢」を描き、「未来」に向かって、「ひと」とつながり、前進する子」

長坂中学校区

長 坂 中 学 校
本 庄 小 学 校
広 野 小 学 校
あ い の 保 育 園
み つ ば 幼 稚 園

令和7年度 連携推進活動報告書

(長 坂) 中学校区

○ 本年度の中学校区における重点推進テーマ・取組内容

目指す子ども像	「夢に向かって、たくましくあゆみ続ける児童生徒の育成」
テーマ	「生活習慣の確立と主体的な学びの育成を目指して」 ～表現力を磨き、自己肯定感を高め、夢を語れる子どもの育成～

○ 活動内容

月日	時間	内容	参加者	場所
4月30日	10:00～	長坂中校区校長会	校長	長坂中学校
5月1日	14:00～	長坂中学校オープンスクール	校長	長坂中学校
5月9日	11:25～	小学校授業参観	みつば幼稚園職員	広野小学校
5月13日	15:00～	長坂中校区教頭会	教頭	長坂中学校
5月23日	9:00～	広野小運動会練習見学	広野小1・2年生 みつば幼稚園4・5歳児	広野小学校
5月26日	9:00～	広野小学校運動会参観	校長（長坂中）	広野小学校
5月27日	16:00～	第1回長坂・藍中学校区就学前施設連絡会	あいの保育園職員 三田つつじが丘認定こども園職員 みつば幼稚園職員	みつば幼稚園
5月31日	9:00～	本庄小学校運動会参観	校長	本庄小学校
6月3日 ～6日		トライやるウィーク生徒受け入れ	長坂中2年	各校園
6月5日	10:15～ 11:15	★サツマイモの苗植え	みつば幼稚園園児・担任 本庄小学校1、2年生・担任	本庄小学校校区内
6月5日	14:30～ 16:45	★連携連絡会 ・授業参観および情報交換 ・今年度の取り組みについて	教頭 各校園所担当者	長坂中学校
6月12日	14:00～	長坂中学校公開授業（道徳科）	管理職 校園職員	長坂中学校
6月13日	15:15～	学年別人権研修会	担当者	本庄小学校
6月13日	9:30～	みつば幼稚園研修会	校園所担当者	みつば幼稚園
6月16日	13:30～ 15:00	長坂中学校特別支援教育見学会	在籍児童・保護者 特支担任・6年担任	長坂中学校
6月25日	14:30～	長坂中学校公開授業（全校道徳）	教頭 校園職員	長坂中学校

7月30日	13:00～	第2回長坂・藍中学校区就学前施設連絡会	あいの保育園職員 三田つつじが丘認定 こども園職員 みつば幼稚園職員	みつば幼稚園
9月12日	14:00～	★長坂中オープンスクール(英語授業体験)	広野小・本庄小 6年児童・保護者 6年担任	長坂中学校
9月18日	9:30～	みつば幼稚園研究会	校長	みつば幼稚園
10月2日	9:00～	長坂中学校体育大会	校長	長坂中学校
10月7日	10:30～	みつば幼稚園 運動会練習見学	園児(5歳) 広野小1年生	みつば幼稚園
10月9日	14:30～	長坂中学校公開授業(全校道徳)	学校園職員	長坂中学校
10月10日	13:30～	本庄小学校校内授業研(道徳科)	校長 教頭 学校園職員	本庄小学校
10月15日	9:50～ 11:00	★サツマイモ収穫 新1年生と新6年生の交流	みつば幼稚園園児・ 担任 本庄小学校児童(1、 2、5年生)・担任	本庄小学校校 区内
10月15日	9:45～	長坂中校区校長会	校長	広野小学校
10月18日	9:00～	みつば幼稚園運動会	校長	みつば幼稚園
10月21日	10:00～	長坂中校区校長会	校長	本庄小学校
10月22日	9:00～	広野小学校児童音楽会	校長 みつば幼稚園園児 広野小学校児童	広野小学校
10月25日	8:40～	広野小学校音楽会	校長	広野小学校
10月30日	9:00～	本庄小学校子ども音楽会	校長	本庄小学校
10月31日	9:00～	長坂中学校文化祭	校長	長坂中学校
11月1日	9:00～	本庄小学校音楽会	校長	本庄小学校
11月5日	9:30	★長坂・藍中学校区就学前施設5歳児交流 会	みつば幼稚園・ つつじが丘認定こど も園・あいの保育園 (全5歳児)	みつば幼稚園
11月10日	16:00～	第3回長坂・藍中学校区就学前施設連絡会	あいの保育園職員 三田つつじが丘認定 こども園職員 みつば幼稚園職員	みつば幼稚園
11月27日	16:45～	長坂中校区教頭会	教頭	広野小学校
11月27日	14:30～ 16:45	★連携連絡会 ・授業参観および情報交換	教頭 各学校園所担当者	広野小学校
12月2日	10:00～ 13:30	★広野小学校・本庄小学校交流会 (なわとび記録会、レクリエーション)	小学校各担任 5・6年生児童	広野小学校
12月5日	10:30	★広野小 生活科交流会	広野小1年生 みつば幼稚園園児	長坂中学校
12月11日	AM	長坂中学校公開授業(道徳科)	管理職 学校園職員	長坂中学校

1月14日	10:00～	長坂中校区校長会	校長	広野小学校
1月16日	13:45～	長坂中学校公開授業（全校道徳）	学校園職員	長坂中学校
1月20日	15:15	学年別人権研修会	担当者	本庄小学校
1月21日	14:30～ 16:45	★連携連絡会 ・授業参観および情報交換	各学校園所担当者 管理職	本庄小学校
1月21日	16:45～	長坂中校区教頭会	教頭	本庄小学校
1月23日	13:00～	長坂中学校入学説明会	小学校各担任・児童・ 保護者	長坂中学校
2月2日	14:00～	長坂中学校公開授業（探究）	学校園職員	長坂中学校
2月5日	13:30～	★本庄小学校入学説明会・児童交流	各担任・園児 児童1年5年	本庄小学校
2月6日	9:40	みつば幼稚園生活発表会	校長	みつば幼稚園
2月6日	13:15～	広野小学校研究発表会（国語科）	管理職 学校園職員	広野小学校
2月12日	13:25～	広野小学校入学説明会	各担任・児童・園児	広野小学校
2月13日	9:25～	★広野小学校・本庄小学校交流会 （算数合同学習、レクリエーション）	小学校各担任 3,4年生児童	広野小学校
2月25日	9:00～	長坂中校区校長会	校長	本庄小学校
2月26日	10:30～	★みつば幼稚園・広野小学校の交流会	園児(5歳) 児童(1年)	広野小学校
3月2日	12:45～	長坂中学校探究祭	学校園職員	長坂中学校
3月23日		小中連絡会 ・中学校への児童情報引継ぎ	生活指導担当 6年担任 特支担任 特支コーディネーター 担当職員	広野小学校 本庄小学校

★：令和7年度の実施で一層の連携推進となった内容

○ 具体的な取組について

広野小学校・みつば幼稚園

- ・小学校の運動会練習を園児が見学
- ・幼稚園の運動会練習の見学と交流
- ・小学校の児童音楽会の見学
- ・入学説明会において5年と園児が交流
- ・1年生が園児に向けて、小学校を紹介

本庄小学校

- ・就学前の園児の運動会への参加
- ・幼、1年でのさつまいも苗植え・収穫（地域老人会との交流を兼ねて）
活動後、園児・1年児童・5年児童の交流
- ・小学校入学説明会での入学予定園児・1年児童・5年児童の交流

長坂中学校・広野小学校・本庄小学校

- ・中学校のオープンスクールで英語体験授業（9月）

広野小学校・本庄小学校

- ・小学校間の交流(5年、6年)(3年、4年)

みつば幼稚園・つつじが丘認定こども園・あいの保育園

- ・5歳児交流



本庄小・広野小交流会
(なわとび記録会)



小学生と幼稚園児の交流

○ 成果と課題

- 「長坂中学校区の保幼・小中連携プラン」を作成した。生活面、学習面において、家庭とも共通理解をして取り組むことを目指し、来年度の初めに各家庭に配布していくこととした。また、年度途中にも保護者に声をかけ、ふり返りアンケート実施することを確認した。
- 毎回の園所連携交流会で、部会ごとに各校の取り組み、特別支援学級の児童の様子や通級在籍児童の様子などの交流など、情報交換をする貴重な場となった。
- 連絡会を年間通して実施したことで、実際の児童生徒の現状を確認でき、各校児童生徒の成長や変化も知ることができた。
- 幼稚園、小学校、中学校という縦のつながりとともに、幼稚園と保育所間、小学校間の横のつながりも持つことができた。
- 児童数の少ない本庄小学校の6年生児童にとっては、広野小学校6年生との交流は中学校に向けて大切な場であり、今後も続けていきたい。
- 就学前の5歳児たちが交流することで、他園の園児たち同士が楽しく関わる経験ができた。就学への期待がより高まったと思われる。来年度は5歳児交流の回数を増やしたい。
- これまで同様、学校間で丁寧な情報交換を継続していく必要がある。
- 授業参観への参加が難しい。部会での話し合いからの参加になることが多い。
- 保育所と中学校の交流の機会を作りたい。保育園に中学生が来てもらえるよう、生徒の移動にバスの手配ができないだろうか。家庭科の学習として実施できるし、キャリア教育のもつなげられる。

上野台中学校区

上野台中学校
志手原小学校
小野小学校
高平小学校
母子小学校
ありまふじ幼稚園

令和7年度 連携推進活動報告書

(上野台) 中学校区

○ 本年度の中学校区における重点推進テーマ・取組内容

テーマ「不登校生の減少を目指した連携推進」 ・生徒指導、特別支援教育、キャリア教育、学習指導を中心に連携を図る。 ・「みんなで育てよう」および「解説編」の家庭への周知、学校と家庭・校種間の連携を図る。 ・「みんなで育てよう ―将来の夢や目標を持ち、挑戦する園児・児童・生徒―」の検証、実績の積み重ね。 ・幼小中合同研修会の実施。
--

○ 活動内容

月日	時間	内容	参加者	場所
4月		キャリアパスポート引継ぎ		
4月30日	10:00～	第1回校区内校長会	各校校長	上野台中学校
5月13日	15:15～	第1回校区内教頭会	各校教頭	上野台中学校
5月26日 ～30日		トライやる・ウィークでの職場体験	トライやる・ウィーク担当	各幼稚園・小学校
6月16日		自然学校に向けた3校交流会	志手原小・小野小・母子小	オンライン
6月13日	15:15～	ブロック 学年別人権研修会	各小学校教員 中学校人権教育担当	高平小学校
6月24日	15:30～	★第1回校区内学校園所連携担当者会	各校学校園所連携担当	オンライン
6月30日～ 7月4日		小学校交流会（自然学習）	志手原小・小野小・母子小	竹野海岸・奥猪名
7月25日		★幼・小・中学校園合同研修会	各校全教員	上野台中学校
7月25日		第1回校区内生徒指導担当者会	各校生徒指導担当	上野台中学校
9月9日		全国学力学習状況調査分析・意見交換	研究推進担当	オンライン
10月16日		上野台中学校 全校生道徳公開授業	各校希望教員	上野台中学校
10月17日		校区内英語科公開授業・意見交換会	各校英語担当教員	上野台中学校
10月28日		幼稚園交流会（中学3年生の保育実習）	幼稚園児 中学3年生	ありまふじ幼稚園
10月・12月		小野・母子小学校交流会	10月1・2年生 12月3・4年生	母子小学校 小野小学校
11月19日	14:30～	第2回校区内生徒指導担当者会	各校生徒指導担当	上野台中学校
12月4日	9:00～	6年4校交流会	志手原小・小野小・高平小・母子小	志手原小学校
12月10日		第2回校区内校長会	各校校長	母子小学校
12月16日		第2回校区内教頭会	各校教頭	オンライン

3月頃		出前授業	生徒指導担当	各小学校
1月23日		上野台中学校入学説明会 ★小学6年生体験授業	志手原小・小野小・ 高平小・母子小	上野台中学校
1月20日	15:15～	ブロック 学年別人権研修会	各小学校教員 中学校人権教育担当	高平小学校
1月29日		★第2回校区内学校園所連携担当者会	各校学校園所連携担当	オンライン
1月29日		★小学校外国語活動オンライン交流授業	各校英語担当	オンライン
2月17日		第3回校区内生徒指導担当者会	各校生徒指導担当	志手原小学校
2月26日		第3回校区内校長会	各校校長	志手原小学校
2月25日		★第1回校区キャリア教育担当者会	キャリア担当教員	上野台中学校
3月5日		第3回校区内教頭会	各校教頭	オンライン
3月25日		6年生児童情報交換	生徒指導担当	上野台中学校
通年		SC SSW 小学校への派遣	生徒指導担当 担任	各小学校
通年		各小学校と幼稚園の交流	各小学校、幼稚園	各小学校

○ 具体的な取組について

- ・年度初めに連携内容ごと窓口となる担当者の確認・整理を行い、周知を図った。
- ・校区校長連絡会で連携の方針を共有し、教頭会で具体的な連携方法について検討した。
- ・本校区は地域が広く、移動時間等の問題を考え、オンライン会議を積極的に活用し、連携を図った。
- ・各校の研究会、公開授業、小学6年生の中学校体験授業・出前授業、中学3年生の幼稚園交流会を実施した。
- ・校区内各校の全教職員参加の幼・小・中学校園合同研修会を実施した。
- ・SC、SSWの派遣を行い、各小学校の生徒指導上の課題の改善とともに、入学予定児童の情報交換が進んだ。

○ 成果と課題

成果

本校区は地域が広く、移動時間や担当者の負担等を考え、今年度も積極的にオンラインでの会議を推進し、円滑的に幼小中連携が推進できた。

夏季校区合同研修会は、昨年度に引き続き、不登校の減少を目指して「カウンセリングマインド」をテーマとしてスクールカウンセラーに講演をしていただき、その後グループに別れて討議を行った。この研修を通じて、日ごろの子供たちへのかかわり方を見つめなおす良い機会となった。また、今年度も4小学校間での交流授業や6年生体験授業の機会を設け「中1ギャップ」の解消にもつなげることができた。加えて生徒指導面ではSCやSSWの各小学校訪問を定期的に計画実施したことで、子供の9年間の成長を見守り支援する体制づくりへの意識づけになった。

課題

年度初めに連携内容ごと窓口となる担当者の確認を行っており、校長会・教頭会・生徒指導に関しては学期ごとの会議が定着化しており、情報共有も図られている。しかし、特別支援教育に関しては中学校入学時の連携強化が課題となっている。今後も、オンラインでの開催も含めて学期に1回は担当者会が開催できるように定着化を図るとともに今年度の課題を整理し、課題を共有した上で小学校から中学校へのスムーズな接続を図りたい。



狭間中学校区

狭 間 中 学 校

武 庫 小 学 校

狭 間 小 学 校

ゆ う か り フ レ ン ズ

認定こども園湊川短期大学附属北摂第一幼稚園

認定こども園三田さち幼稚園

令和7年度 連携推進活動報告書

(狭間)中学校区

○ 本年度の中学校区における重点推進テーマ・取組内容

テーマ「夢をえがき、確かな学力で たくましく生きる子ども」 ・ほめて のばす 学校園所連携のあり方に関する研究 ～切れ目のない連携による児童生徒の自己有用感の向上を目指して

○ 活動内容

月日	時間	内容	参加者	場所
5月2日	13:15 ～	校区校長会	校長	狭間中学校
	13:15 ～	小中連絡会(生徒指導)	小中学校の生徒指導担当	狭間中学校
5月13日	10:00 ～	校区教頭会	教頭	狭間小学校
5月19日	9:30	狭間小学校1,2年生 運動会表現運動見学	さち園児	狭間小学校
5月20日	9:30	狭間小学校1,2年生 運動会表現運動見学	ゆうかり園児	狭間小学校
5月27日		トライやるウィーク	中学校の希望生徒	狭間小、武庫小、北摂第一幼、さち幼、ゆうかり
5月27日～5月30日		★狭間小学校授業公開	中学校の希望者	狭間小学校
6月2日～6月6日		★狭間中学校授業公開	小学校の希望者	狭間中学校
6月9日～6月13日		★武庫小学校授業公開	中学校の希望者	武庫小学校
6月26日		学校園所連携推進会議	保幼小中連携担当者、教頭	狭間小学校
8月		ゆうかりフレンズ 公開保育	近隣幼小中職員	ゆうかりフレンズ
8月22日	9:00 ～ 11:00	★小中合同夏季全体研修会	小中学校教員	狭間中学校
7月29日	9:30 ～ 11:00	★外国語研修(武庫小と合同研修)	小中学校教員	武庫小学校
10月14日	午前	狭間小学校1年生 音楽会表現見学	ゆうかり園児	狭間小学校
10月16日	午前	狭間小学校1年生 音楽会表現見学	さち園児	狭間小学校
11月4日		幼児とのふれあい体験	中学生・さち園児	さち幼稚園
11月7日		公開保育	近隣幼小中職員	さち幼稚園
11月11日		幼児とのふれあい体験	中学生・さち園児	さち幼稚園
11月20日	14:30	学校園所連携推進会議(校区校長会)	校長	狭間小学校
11月20日	14:30	学校園所連携推進会議(生徒指導)	小中学校の生徒指導担当	狭間小学校

12月8日		公開保育	近隣幼小中職員	北摂第一幼稚園
12月17日 18日	14:15～ 15:00	狭間中学校出前授業	中学校教員・児童	狭間小学校 武庫小学校
12月26日	10:00 11:00	校区教頭会	教頭	狭間小学校
1月23日		新入生入学説明会 12:00～13:00 武庫・狭間で交流してから、中学校へ向かう。	教職員・保護者	狭間中学校
2月5日	13:50	新入生入学説明会	教職員・保護者・ 児童	武庫小学校
2月25日	9:30	保幼小交流会	小学校1年生 ゆうかり、さち園児	狭間小学校
2月25日	15:40	学校園所連携推進会議	保幼小中連携担 当者、教頭	狭間小学校
3月3日	14:30	学校園所連携推進会議(校区校長会)	校長	武庫小学校
3月3日	14:30	学校園所連携推進会議(生徒指導)	小中学校の生徒指導 担当	武庫小学校
3月23日 24日	14:00	小中連絡会	小中学校生徒指導担 当及び特別支援学級 担任	各小学校

○具体的な取組について

- ・中学校区のめざす子ども像に向かうため、ほめて伸ばすことをテーマに、年間を通して小中連携の取り組みを計画した。
- ・1学期。小学校授業の良さ中学校授業の良さを交流するために、いつでも公開授業週間を設け、参加可能な教員がお互いの授業を参観しあった。
- ・夏季休業中に、2回教職員の合同研修会を持つことができた。同じテーマで、ともに考え、意見交流することができた。そのうち、1回は、昨年度に引き続き、効果的な小中連携の仕方を学ぶため、神戸学院大学人文学部 教授 大西 慎也 先生を講師に招いた。
- ・2学期。さち幼稚園児とゆうかりフレンズ園児が、音楽会(1年)の練習を見学した。コロナ前から継続している活動である。1学期では、運動会でも同じ活動ができた。また、中学生が小学校に出前授業をしてくれ、中1ギャップ解消に向けた取り組みを行うことができた。
- ・3学期。それぞれの学校で、新入生を迎える新入生説明会を行うことができた。小1 プロブレムを未然に防ぐため、入学説明会時に新入生と現5年生との交流【体験入学】を行っている。また小学校間の交流会も持つことができた。入学説明会に行く前、狭間小学校で合流し、交流しあった後、一緒に中学校に向かうことができた。
- ・通年。各園が年に一回公開保育を実施している。近隣の学校に案内を出し、広く公開している。

○ 成果と課題

成果(子ども)

- ・今年度も、交流する中で、年上の子どもは「いいところを見せたい」「やさしくしたい」などの感情を自然と抱き、自己の成長につなげることができた。年下の子どもは「かっこいい」「あんな風になりたい」などあこがれの感情を持ち、自分の行動を変えたり、やる気につなげたりすることができた。やはり、主体的に子どもたちが取り組むことができる環境設定が大事であることを職員で共有することができた。

成果(教員)

- ・他校種の教員の子どもへの関わり方や授業の進め方などについてそれぞれの場所へ足を運び、実際に見ることができ、自分の指導に生かすことができた。また、合同の研修会で、同じ時間を、同じテーマで共に考え過ごすことができたことも大きかった。思いや考えを共有することの大切さを感じた。

課題(共通)

- ・取り組みの足し算という考え方から、今までの取り組みの視点をどう持つかを共有することが大事であると話し合った。自分たちが取り組んできたことを意識化することで成果や結果も変わってくると思う。そして、個人の取り組みではなく、チームで共有し取り組むことが、一番の環境設定ではないかと思う。来年度は、今取り組んでいる探求や総合の中身を出し合う中で、自分たちが住んでいる街を調べたり、深めていくような取り組みにつなげていきたい。

★小学1年生が園児に小学校の説明を行う授業



★小学校と小学校の交流会



八景中学校区

八 景 中 学 校
三 田 小 学 校
三 輪 小 学 校
松 が 丘 小 学 校
三 田 こ ば と 保 育 園
よ こ や ま 保 育 園
さ ん だ の も り 保 育 園
三 田 虹 の 子 保 育 園
三 田 保 育 所
三 田 幼 稚 園
三 輪 幼 稚 園
松 が 丘 幼 稚 園

令和 7 年度連携推進活動報告書

八景中学校校区

○本年度の中学校校区における重点推進テーマ・部会組織

☆テーマ「人も自分も、学校園所もふるさとも、大切にできる子」	
☆『みんなで育てよう』“がんばりポイント” 進んで「自学」 どんどん「読書」 元気に「運動」	
☆担当部会組織	
①学力向上	②ICT 情報教育
③外国語・外国語活動	④学校評価
⑤生徒指導	⑥特別支援教育
⑦教頭等連絡会	⑧校園長会
⑨保幼・小接続	

八景中学校校区連携年間計画に基づき、各部会で取り組み、共通理解を進める。

○取組内容

① 学 力 向 上	【実施回数】 担当者交流会 1 回 【参加者】 小・中担当者
	【主な内容】 ○子どもたちの学力向上に向けての各校の取組の交流 ・ 教育課程の進捗状況 ・ 学力学習状況調査の各校の結果分析 ○八景中校区共通の取り組みについて ○「学びのスタンダード」の定着、「家庭学習の手引き」の充実について ・ 自主学習の取り組ませ方 ・ 共通理解すべき内容等 【成果と課題】 ・ 今年度の「全国学力・学習状況調査」の結果をもとに、中学校区としての学力の分析・共通理解を進めた。「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という設問に対する肯定的な回答の割合がとても高い。小学校の時から地域ボランティアさん等、様々の方と関わり、中学校でクリーン・デーに参加したり、トライやるで地域でお世話になったりした経験が活かしている。これからも保護者、地域と連携した学校づくりを推進していく。 ・ 家庭学習の習慣を定着させていくことがとても重要である。八景中校区でこれまでも推進してきた取り組みを来年度も継続していく。ただ、様々な背景をもち家庭学習な困難な児童生徒もいる。公教育に携わる教員として、まず授業のなかで「できた、分かった」と児童生徒が学ぶ喜びを実感できる授業づくりを目指し続ける。 ・ 来年度の本部会は、8 月下旬から 9 月上旬に実施することが適切だと話し合った。

② ICT 情報教育	【実施回数】 担当者交流会 2 回(担当者会で兼ねる)+随時情報交換 【参加者】 小・中担当者 【主な内容】 ・小中学校のスキルカリキュラムの共有 ・スキルやモラル等における指導事項の確認及び共有 【成果と課題】 ○共有ドライブを用いて、指導に必要な教材を共有し、指導に差が出ないようにしている。 ○随時情報を共有したり、確認したりして、年度末の端末更新の作業においても、小学校から中学校へ進学する子どもたちの対応についても素早く相談・対応することができた。 *来年度も、これまでに作成したものを継続して利用し、ICT 情報教育を推進していく。
------------------	--

③ 外国語・ 外国語活動	【実施回数】 研修会 4 回（内 2 回は市主催） 【参加者】 小・中担当者+中学校英語科教員 【主な内容】 ○外国語専科教員による公開授業 ・小中学校間での相互の授業観察・連携における中学校への円滑な接続についての意見交流 ・市主催の担当者会と、夏の八景中学校区連携事業の 3 回を用いて、年度初め・年度途中・年度終わりのタイミングで意見交流や情報交換。 特に、夏の研修会には指導に係る全教員が参加することで非常に有効であった。 【成果と課題】 ○「書くこと」について、現在、宿題で行っているワークシートで 4 線を意識して書くことができるようになってきている。 ○「名前」、「誕生月」「誕生日」「出身校」「八景」「三田」「兵庫」はへボン式ローマ字で書けて進学できるよう、今年度新たに共有している。 ○聞くこと」について、音との文字の指導で用いている Jolly Phonics で育ってきている。しかし、音から文字への移行になると個人間で大きな差が出てくる。 ○小中の円滑な連携・接続のために、各校の実態と取り組みを共有することができた。 ○各校の児童の実態に応じた取り組みがなされ、「英語科」としての学習が定着してきた。
--------------------	--

④ 学校評価	【実施回数】 1 回 【参加者】 小・中担当者 【主な内容】 ○これまでの流れと昨年度の取組の確認 ・共通目標 『人も自分も 学校もふるさとも 大切にできる子』 ・4 つの柱を重視した連携推進 ① 学校生活における基本ルールの共通化 ② 学習活動における基本ルールの共通化 ③ 目標に向かって挑戦する心の育成 ④ 学校・ふるさとを大切にする心の育成 【成果と課題】 ・小学校では「自分が住んでいるまちが好き」という項目で、どの学校も肯定的な評価が高かった。これは、地域ボランティアによる学習支援や登下校時の見守り活動など、地域の方々との継続的な関わりを通して、子どもたちの地域への愛着が育まれていることによるものと考えられる。 ・一方、課題としては、中学校における家庭学習の定着や、昨年度から引き続き課題となって
-----------	--

	いる読書習慣の定着が挙げられた。これらについては、学校と家庭がそれぞれ具体的な取り組みを工夫し、継続して実践していく必要がある。また、三輪小学校では校舎改修工事により運動場所が制限され、運動時間が減少したことが、5年生の体力テスト結果の低下に大きく影響したと考えられる。今後は、4校で共有した内容を各校において保護者や地域に丁寧に伝え、課題意識を共有したうえで連携しながら情報発信と改善に取り組んでいきたい。
⑤ 生徒指導	【実施回数】 担当者会4回 出前学活3回 【参加者】 小・中担当者 【主な内容】 ○各校の情報交換（小6児童、中1生徒中心） ○公開授業参観（4回） ○入学前アンケートの実施 ○生活のきまりの共有 ○出前学活（小6対象） 【成果と課題】 ・各校の児童・生徒の状況や支援について、きめ細かく情報交換を行っている。不登校は増加傾向にあるが、個々の児童・生徒への対応については学校間で連携を図ることができている。 ・生徒指導上の問題行動や児童への配慮事項について、入学前に情報共有を行うことで、入学後も比較的円滑に受け入れができている。 ・中学校区全体でSSWを活用することにより、多面的な視点で情報交換を行い、必要な支援へとつなげることができている。 ・きょうだい関係に関する情報交換等も随時行い、児童・生徒への指導や支援に活かすことができている。
⑥ 特別支援教育	実施回数】 4回 【参加者】 コーディネーター・幼・小・中担当者 【主な内容】 ○中学1年生の授業参観と支援について（第1回は1学期に八景中学校で開催） ○ケース交流会 ・通常学級に在籍する児童の授業参観（通級対象児） ・支援の方法について（個別の指導計画をもとに） ○通級指導教室での自立活動・教育相談の内容について 【成果と課題】 ・中学校で支援が必要な生徒の実態から、具体的な支援方法、保護者・関係機関との連携について交流することが出来た。 ・校内の支援体制について、資料を使って交流することができた。 ・次年度も今年度と同様の時期、生徒指導との同時開催で、連携を継続していきたい。 ・今年度は4校とも参観を行うことができた。
⑦ 教頭連絡会	【実施回数】 1回 【参加者】 小・中教頭 【主な内容】 ○本年度の方針の確認、実施計画を共有（各部会の実施状況等については、各校内にて把握） ○学校園所合同研修会（8月）に係る具体的な計画

	【成果と課題】 ・学校園所合同研修会当日は教科・領域ごとに担当者が分かれて交流会を行い、情報共有や意見交換を行った。また講演会では、兵庫県立有馬高等学校教諭より、高等学校における特別支援教育の推進についてご講演をいただき、幼小中で育むべき力や校種間の連携の重要性について共通理解を深めることができた。 ・定期的な連絡会の開催には至らなかったが、年度当初に全体の方針を確認し、部会ごとの会議を計画的に実施することができた。それぞれの会で確認した内容を各学校での取り組みに生かすとともに、部会の進捗状況や学力向上の取り組み、入学説明会などの学校行事についても、こまめに連絡を取り合いながら情報交流を行うことができた。
--	---

⑧校 園 長 会	【実施回数】 3回 【参加者】 小・中学校長、幼稚園長、保育園長 【主な内容】 ○年度当初と年度末に、取り組み内容や成果と課題についての確認、情報交換等を行った。 ・方針確認、連携の取り組み内容決定 ・各学校園の取り組み交流、情報交換 ・振り返りと次年度方針決定 【成果と課題】 ・八景中学校区の実態、共通目標や学校園で取り組むべき課題の共有と取り組みの交流ができた。 ・各学校の教育課程や、行事のもち方、PTAの現状について等について情報交換を行い、各学校の取り組みに活かすことができた。 ・令和7年度の共通目標、連携の在り方、各部会の実施計画等、取り組みについて話し合い、次年度の連携につなげることができた。

		種別	回数	主な内容	参加者
⑨保 幼 小 接 続	松が丘小校区（松が丘小学校・松が丘保育園）	子どもの交流	幼小16回	小学校運動会練習見学（1年生）、小学校運動会応援、体育委員との交流5回（5, 6年生）、七夕会（5年生）、小学校劇鑑賞（4, 5年生）、冬芝の種まき（1年生）、小学校音楽会練習見学（1, 2, 5年生）、図書委員による読み聞かせ（5, 6年生）、1年生授業見学、入学説明会（5年生）、幼稚園生活発表会練習見学（1, 5年生）、小学校体験（1年生）	園児・児童
		教師間交流	担当者会3回 接続カリキュラム検討3回 授業・保育参観	・活動計画、情報交換 ・接続カリキュラム検討、作成 ・幼稚園教諭の授業見学、小学校教諭の保育参観 ・幼稚園教諭の運動会見学	幼小教職員

三輪小学校区（三輪小学校・三輪幼稚園・三田虹の子保育園・さんだのもり保育園）	【成果と課題】 ・体育委員や図書委員との交流、七夕会など、親しみをもって関わり合うことができ、憧れの気持ちが高まった。また、自分達にできることを考えて行動する力にもつながり、互恵性のある交流の機会となった。 ・授業見学では、具体的な環境を知ったことで、園児の小学校生活への関心が高まり、体育の授業に参加したことは、さらに就学への期待を高めた。 ・児童が幼児と関わる経験は、幼少期を懐かしく感じるのと同時に、自らの成長に気付くきっかけにもなっていた。 ・教師間の連携では、幼児期と児童期の学びや育ちのつながりを、実際の子どもの様子と照らし合わせながら確認し合い、接続カリキュラムを作成することができた。育ちの道筋を知ったことで、それを踏まえて1年生の授業を進めようとする自らの変化につながったと感じている。次年度以降も引き続き、子どもの実態に合わせて情報交換し、カリキュラムの見直しを継続していきたい。			
	子どもの交流	幼小6回 保幼小6回 保幼25回	・行事見学、授業見学 ・行事見学、授業見学、学校紹介【生活科】 ・なかよしタイム（行間休み交流） ・校長先生に質問タイム ・交流ウィーク（戸外遊び、水遊び、互いの遊びの持ち寄り） ・人形劇鑑賞 ・給食交流会	園児・児童
	教師間交流	相互参観6回 合同研修会10回	・相互参観、意見交流会（互いの教育内容・子どもへのかかわりについて理解を深める） ・園内研究会、小学校区保幼小連携に係る担当者会、小学校区幼児教育施設担当者会（就学前から義務教育終了までを見通して子ども達の学びの連続性を重視した学校園所連携及び接続の推進） ・接続カリキュラムの検討	保幼小教職員
	【成果と課題】 ・今年度は、幼児教育施設の環境構成の中の「一日のスケジュール」を可視化した掲示を1年生のスタート期の教室環境に取り入れた。1年生が安心して過ごすことができる教室環境となり、その後の学びの充実につながっている。 ・教師の固定概念にとらわれず、子どもの姿に合わせ、やさしく柔軟に対応していくことで、自分らしさを発揮し、主体的に学びをすすめていく姿につながった。小学校でも子ども達が「やりたい！」と思った時に実現できる教室環境を構成していきたい。 ・行事としての交流ではなく、「普段の保育の中での交流」「互いに遊びを持ち寄る交流」等の工夫を重ねることで、地域の子どもの姿を同じ視点で捉え、学びの芽生えや育まれつつある資質・能力を共通のまなざしで見取ることができるようになった。 ・接続カリキュラムは幼小で子どもの姿を見ながら一緒に作成し、さらによいものに改善していくことが大切である。今後、遊びや学習の中に見られる子どもの具体的な姿をカリキュラム上に言語化してつなぎながら、地域ベースのカリキュラムの検討に取り組んでいきたい。			

三田小学校区 (三田小学校・三田幼稚園・三田保育所・三田こぼと保育園・よこやま保育園)	子どもの交流	保幼小3回	・一年生生活科の「ウェルカムパーティーをしよう！」に参加し、一緒に遊ぶ。	園児・児童
		保幼小6回	・小学校に行き、1年生の授業の様子を見学する。 ・国語科の「小学校のことを紹介しよう！」で、作成した紹介ブックを、就学前施設にて活用する。 ・「友達ウィーク」として、好きな遊びを三田幼稚園で一緒に楽しむ。 ・「運動会ごっこ」として、三田保育所で一緒に運動遊びを楽しむ。	園児・児童
	教師間交流	連絡会3回	・活動計画と情報交換をする。 ・活動の振り返りと意見交換をする。	保幼小教職員
		保幼小交流事後研修会1回 園内研1回	・「友達ウィーク」を通しての成果と課題について協議する。 ・三田保育所公開保育に参加し、気づきや学びについて伝える。	幼保教職員
	【成果と課題】 ・今年度も小学校1年生が企画した“ウェルカムパーティー”に園児を招待し、一緒に遊びを楽しむことができた。1年生が優しく声をかけてくれたり、作り方や遊び方を教えてくれたりする中で、子ども達も安心して参加することができた。 授業参観では、実際の小学校の環境や授業中の雰囲気を知ることができ、就学への不安が和らぎ、小学校への期待や憧れの気持ちがより高まった。 ・“友達ウィーク”では日数を増やして計画したことで、昨年度よりも一緒に遊ぶ回数が増え、子ども同士の関わりが深められた。また、今年度の新しい取り組みとして、三田保育所で遊びの交流ができたことは成果と感じている。 ・教師間の交流では、「10の姿」を手掛かりに、子どもの育ちや各園所校での取り組みを共有し、縦と横の連携と、学びをつなげていくことの大切さについて理解し合える機会となった。			

○保幼小接続の様子



地域の幼児教育施設との交流（保幼）



小学校体育委員と園児の交流（幼）

保幼園児の交流

けやき台中学校区

け や き 台 中 学 校
す ず か け 台 小 学 校
け や き 台 小 学 校
若 草 幼 稚 舎
湊川短期大学附属キッズポート保育園
認定こども園湊川短期大学附属北摂中央幼稚園
三田けやき台認定こども園

令和7年度 連携推進活動報告書

(けやき台) 中学校区

○本年度の中学校区における重点推進テーマ・取り組み内容

【重点取り組み】 共通テーマ「よりよい人間関係を結ぶ力を育てる ～あいさつの活性化～」

- ① あいさつの活性化に向けて共通スローガン「あいさつで心もつながる地域の輪」
- ② 中学校区連絡会の定期開催（年間3回、学期1回）
授業参観～情報交換（管理職・連携担当・生徒指導担当・特別支援教育コーディネーター・学力向上担当）
- ③ 学校・園だよりの交流、年間計画の交流
- ④ 生徒会いじめ撲滅カレンダーの配布
- ⑤ 保育・学習指導の交流・・・道徳人権教育のカリキュラム交流、保育・授業参観
- ⑥ 小・中学校入学説明会
- ⑦ 入学予定児童生徒及び配慮を要する児童生徒に係る情報交換
- ⑧ 全国学力・学習状況調査の結果分析から交流

○活動内容

月日 時間	内 容	参加者	場所
4月30日（水） 15:30～	中学校区連携連絡会 （管理職打ち合わせ会） けやき台中学校学校公開	管理職 （けや中・けや小・すず小・北 摂中央幼・キッズポート保・若 草幼・けやき台幼）	けやき台 中学校
6月12日（木） 13:40～	第1回けやき台中学校区連携連絡会 けやき台中学校学校公開	学校園所連携担当・生徒指導担 当・特支コ担当・★学力向上担 当 （けや中・けや小・すず小・北 摂中央幼・キッズポート保・若 草幼・けやき台幼）	けやき台 中学校
9月3日（水） 14:30～	第2回けやき台中学校区連携連絡会 すずかけ台小学校学校公開	管理職・学校園所連携担当・生 徒指導担当・特支コ担当 （けや中・けや小・すず小・北 摂中央幼・キッズポート保・若 草幼・けやき台幼）	すずかけ 台小学校
9月12日（金） 16:00～	けやき台中学校区連携連絡会「学力 向上担当部会」 全国学力・学習状況調査結果中学校 区合同分析	学力向上担当 （けや中・けや小・すず小）	すずかけ 台小学校
2月20日（金） 13:40～	第3回けやき台中学校区連携連絡会 けやき台小学校学校公開	管理職・学校園所連携担当・生 徒指導担当・特支コ担当・★学 力向上担当 （けや中・けや小・すず小・北 摂中央幼・キッズポート保・若 草幼・けやき台幼）	けやき台 小学校

※今年度の取り組みの中で、一層の連携推進となった内容に★印を入れてください。

○取り組みの具体と参加

月 日	内 容	参 加 者	場 所
4月11日	すずかけ台小学校入学式	キッズポート保育園 園長 北摂中央幼稚園 園長	すずかけ台小学校
4月11日	けやき台小学校入学式	キッズポート保育園 職員	けやき台小学校
5月10日	けやき台幼稚園運動会	三田けやき台認定こども園 園児・保護者 けやき台小学校 校長	けやき台小学校
5月25日	キッズポート保育園運動会	キッズポート保育園 園児・保護者 すずかけ台小学校 校長	キッズポート保育園
5月26日 ～5月30日	トライやる・ウィーク	けやき台中学校 2年生徒 全連携学校園所	全連携学校園所
5月29日	すずかけ台小学校運動会	キッズポート保育園 園児	すずかけ台小学校
5月31日	けやき台小学校運動会	三田けやき台認定こども園 園児・職員	けやき台小学校
8月18日 ～9月 5日	「届けよう、服のチカラ」プロジェクト 子供服の収集に、中学校校区内学校園所 が協力	けやき台中学校 2年生徒 連携幼稚園・保育園・小学校	連携幼稚園・保育園・ 小学校・中学校
10月11日	北摂中央幼稚園運動会	北摂中央幼稚園 園児・保護者 すずかけ台小学校 教頭	北摂中央幼稚園
10月20日	すずかけ台小学校音楽会	キッズポート保育園 園児 北摂中央幼稚園 園長	すずかけ台小学校
10月28日	けやき台小学校音楽会練習	三田けやき台幼稚園 園児・職員	けやき台小学校
11月 1日	けやき台小学校音楽会	キッズポート保育園 園長 北摂中央幼稚園 園長	けやき台小学校
11月 2日	若草幼稚舎運動会	若草幼稚舎 園児・保護者・卒園し た小学生等	中央公園 多目的グラウンド
12月 8日	けやき台小学校学校訪問	若草幼稚舎園児	けやき台小学校
12月17日	中学生による出前授業	すずかけ台小学校 6年児童 けやき台中学校 2年有志	すずかけ台小学校
12月19日	中学生による出前授業	けやき台小学校 6年児童 けやき台中学校 2年有志	けやき台小学校
1月23日	けやき台小学校研究発表会	連携学校園所	けやき台小学校
1月31日	けやき台中学校入学説明会	すずかけ台小学校児童・保護者 けやき台小学校児童・保護者	けやき台中学校
2月 3日	けやき台小学校入学説明会・ 体験入学	三田けやき台認定こども園・若草幼稚舎・北摂中央幼 園・キッズポート保育園 園児・保護者	けやき台小学校
2月 5日	けやき台中学校道徳研究授業	連携小学校	けやき台中学校
2月 5日	すずかけ台小学校入学説明会	三田けやき台認定こども園・若草幼稚舎・北摂中 央幼稚園・キッズポート保育園 園児・保護者	すずかけ台小学校
2月12日	すずかけ台小学校学校見学・交 流会	北摂中央幼稚園 園児 キッズポート保育園 園児	すずかけ台小学校

○具体的な取り組みについて

- ① 年度当初に管理職会を行い、テーマや年間計画を立てた。共通テーマ「**よりよい人間関係を結ぶ力を育てる～あいさつの活性化～**」を継続し、あいさつの活性化に向けた取り組みを進めることとなった。
- ② 連携連絡会では、授業参観後、全体会で今年度のテーマの確認、取り組み計画・推進について協議した。
- ③ 全体会后、各部会（管理職、連携担当、生徒指導、特別支援コーディネーター、学力向上）に分かれて、それぞれの取り組みの確認や情報交流を行った。
- ④ 今年度より学力向上部会を定期開催とし、学力向上部会が全国学力・学習状況調査結果中学校区合同分析だけでなく、各校の研究発表会に参加したり、各校の取り組みを共有したりした。
- ⑤ 生徒指導、特別支援の観点から、早期に児童の情報交流を図り、中1ギャップ、小1プロブレムの解消を図った。
- ⑥ 学校園だよりの交流をした。
- ⑦ けやき台中学校生徒会が作成した「いじめ撲滅カレンダー」を配布し、各学校園所に掲示した。
- ⑧ 小中一貫教育推進計画書が作成した。各学校のめざす児童像・生徒像をもとに、小中9年間を見据えためざす子ども像として、「**夢を持ち、自分も友だちも、学校もふるさと大切に**する」と設定し、共通の目標に向かった取り組みを推進した。
- ⑨ 保幼小の円滑な接続に向けて、接続期のカリキュラムの作成を進めた。

○各中学校区が各担当教員で連携する主な内容

【管理職】

- ・ 課題と取り組みについて情報共有、方針決定
- ・ 各担当における評価と検証

【生徒指導】

- ・ 生徒指導に関する共通目標を設定
- ・ 生徒指導事案について
- ・ 学校のルール、生徒指導方法等の共有
- ・ 問題行動、不登校等についての情報共有(児童生徒理解・教育支援シートの活用)
- ・ 巡回パトロールの実施状況
- ・ 中学生による出前授業の企画・調整

【学校園所連携担当】

- ・ 保幼小中の相互の連携について（各種行事等を通じた効果的な交流等、連絡調整）
- ・ 保育参観、入学説明会の企画・調整
- ・ 発達段階に応じた生活習慣、学習習慣の定着への取り組み
- ・ 保幼小接続カリキュラムに基づく、育てたい力を意識した保育・教育の実践
- ・ 保育、道徳人権教育のカリキュラム交流
- ・ トライやる・ウィーク（読み聞かせ・ようこそ先輩の取り組み）
- ・ “服のチカラ”プロジェクト、生徒会いじめ撲滅ポスターの配布について

【特別支援教育コーディネーター担当】

- ・ 配慮を要する児童についての情報交換（通常学級在籍）
- ・ 中学校でも通級指導を希望する児童についての情報交換
- ・ 引継ぎの時期、方法について
- ・ 保護者と学校との連携について
- ・ 各校での合理的配慮やUD
- ・ 小中学校特別支援学級担任情報交換会の企画・調整



中学生出前授業



いじめ撲滅運動ポスター



トライやる・ウィーク

★【学力向上担当】

- ・ 学習規律と学習指導について
- ・ 基礎基本の習得、定着、活用について
- ・ 授業づくりの共有(英語、算数・数学)
- ・ 各校授業研究会の案内
- ・ 全国学力・学習状況調査結果の交流と合同分析



○ 成果と課題

“届けよう服のチカラ”プロジェクト

① テーマの取り組みについて

- ・ 昨年同様、共通テーマ「より良い人間関係を結ぶ力を育てる～あいさつの活性化～」に基づき、「あいさつで心もつながる地域の輪」を掲げて取り組みを実施した。
- ・ 各学校園所では、小学校では児童会、中学校では生徒会が中心となってあいさつの啓発活動を実践してきた。
- ・ しかし、あいさつ活動を地域（まち）全体で一体となって広げていく実践が課題である。学校園所で日常的に実践している活動が地域全体に広められる具体的な対策が求められている。

② 学校園所の連携について

- ・ 連携組織体制のもと、日ごろから学校園所で密に連携の取り組みがなされている。
- ・ 園所の子どもが小学生の姿を見たり、小学生が中学生の姿を見たりすることにより、自分もこうなりたいという思いと見通しを持つことができる。また、上の児童・生徒にとっても、見本となって頑張ろうとする意識やモチベーションを高めることになっている。
- ・ 今年度新たに中学生が校区小学校を訪問し、6 年児童に直接中学校の生活や良さを伝える授業を行った。この取り組みは次年度入学してくる児童に安心感を与え、ロールモデルの発見ができたのではないかなと思われる。また、授業をおこなった中学生は大きな自信と自己有用感を得ることができた。
- ・ 学校園所で定期的に連絡会をもつことで、中学校区全体として子どもの状況や課題を共有することができ、つながりを大切にした教育活動を実施できている。

③ 情報交流による様々な効果

- ・ 各部会で管理職、生徒指導担当、特別支援コーディネーター、学校園所連携担当、学力向上担当とそれぞれの立場で情報交流をすることにより入学時のスムーズな入学生の受け入れ体制が実践できている。特に支援や配慮が必要な児童については、特別支援コーディネーター担当部会にて詳細に児童の情報共有ができた。
- ・ 各学校園所の課題や問題を共有することでそれぞれの学校園所の実践を見直す機会になった。
- ・ 学力向上部会においては、各校研究発表会や全国学力・学習状況調査の共同分析等を通して、小学校からの「つながり」を意識した学びについて検討することができた。さらに小中学校の教員が直接、児童生徒の学びの姿を見て、話し合う機会を設けることで、「連携や接続」を意識した学びの実現を図れるよう、今後も学びの継続と積み上げに向けた実践事例を増やす取り組みを推進していく。
- ・ 子どもたちの成長過程の中で、校区学校園所で一貫した「子どもの育ち」を支える仕組みをつくっていくことが大切である。校区学校園所間の交流や対話を大切にしていきながら、さらに連携を推進していく。

富士中学校区

富 士 中 学 校

富 士 小 学 校

弥 生 小 学 校

ひまわり特別支援学校

認定こども園ふじ幼稚園

認定こども園やよい幼稚園

令和7年度 連携推進活動報告書

(富士) 中学校区

○本年度の中学校区における重点推進テーマ・取り組み内容

テーマ「～保幼小中特の連続した発達や学びを支える教育の充実をめざして～」

＜めざす子ども像＞ 人との豊かなつながりの中で

明るく元気に学ぶ子 あいさつができる子 思いやりのある子

- ・各学期に学校園所連携連絡会（授業見学会・各部会）を開催し、各校の分掌担当者を中心に情報交換等を行い、課題や今後の連携のあり方等について意見交流を行う。
- ・年2回の児童生徒交流会を行い、園児・児童・生徒の交流を図り、中学校区における児童会及び生徒会活動の活性化や充実を目指す。
- ・今後の教職員及び園児・児童・生徒の連携・交流に向けて検討を進める。
- ・ひまわり特別支援学校との共同学習の推進。

○活動内容

月日	時間	内容	参加者	場所
5月1日(木)	10:00	富士中学校区4校校長会 ・今年度の連携推進についての方向性と 取り組み内容の確認	各学校長	ひまわり 特別支援学校 中高等部
5月29日(木)	16:00	富士中学校区4校教頭会 ・今年度の連携推進における取り組み内容の 詳細について確認	各教頭	富士中学校
6月11日(水) 6月17日(火) 6月20日(金)	10:45 12:20 10:45 12:20 9:50 15:25 16:00 16:45	第1回富士中学校区学校園所連携連絡会 ・授業見学会 弥生小学校 ・授業見学会 富士小学校 ひまわり特別支援学校（小） ・授業見学会 富士中学校 ひまわり特別支援学校（中） ・部活動見学会 富士中学校	富士中校区の 幼・小・中・特の全 教員を対象	各開催校 ・各教室等 富士中学校 ・グラウンド等
8月1日(金)	9:00 10:30 11:00 11:40 12:30	★第1回児童生徒交流会 ・各校における1学期の児童会・生徒会の 活動等について紹介 ・共通の取り組みについて提案、協議 （あいさつ運動、募金活動など） ・第2回の交流会に向けての提案（報告等） 第2回富士中学校区学校園所連携連絡会 ★全体会 『ひまわり特別支援学校より～支援を必要と する児童生徒の「自立と社会参加」を目指 して』の内容で研修会を実施 ・各部会 （学習指導部・生徒指導部・道徳人権教育部・ 特別支援教育部）※児童生徒交流部会はなし	富士中校区の 小・中・特の 児童会・生徒会役員 及び 各校の担当教員 富士中校区の 幼・小・中・特の全 教員を対象	富士中学校 ・被服室 富士中学校 ・体育館 （武道場） ・各教室

11月14日(金)	13:45 15:40 16:20	第3回富士中学校区学校園所連携連絡会 ・授業見学会 ・各部会の開催 (学習指導部・生徒指導部・道徳人権教育部・特別支援教育部) ※児童生徒交流部会はなし	富士中校区の 幼・小・中・特の教 頭・各部会担当教員 を中心に全教員を 対象	富士小 ひまわり小学部 ・各教室
1月23日(金)	13:10 15:00 13:10 16:30	第4回富士中学校区学校園所連携連絡会 ・授業見学会 富士中学校 ひまわり特別支援学校 中 ※オープンスクールと同時開催 ※各部会の開催なし 富士中学校入学説明会・制服採寸・部活動見学	富士中校区の 幼・小・中・特の教 頭・各部会担当教員 を中心に全教員を 対象 入学予定の児童 及び保護者	富士中 ひまわり中学部 ・各教室 富士中 ・体育館等
2月3日(火)	15:45 16:45	★第2回児童生徒交流会 ・自己紹介(新役員) ・各校における2学期以降の児童会・生徒 会の活動等について紹介 ・共通の取り組みについて交流 ・次年度の交流会に向けての提案	富士中校区の 小・中・特の 児童会・生徒会役員 及び各校の担当教 員	富士中 ・被服室
2月10日(火)	13:40 15:40 16:20	第5回富士中学校区学校園所連携連絡会 ・授業見学会 弥生小学校 ・各部会の開催 (学習指導部・生徒指導部・道徳人権教育部・特別支援教育部) ※児童生徒交流部会はなし	富士中校区の 幼・小・中・特の教 頭・各部会担当教員 を中心に全教員を 対象	弥生小 ・各教室

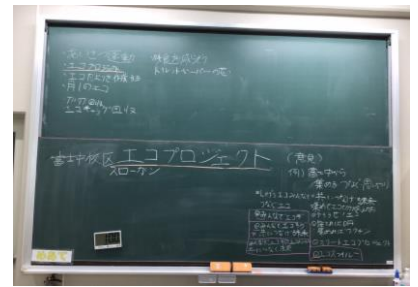
○具体的な取り組みについて

1 第2回富士中学校区学校園所連携連絡会『★全体会』

- ◆『ひまわり特別支援学校より～支援を必要とする児童生徒の「自立と社会参加」を目指して』の内容で、富士中学校区の学校園所全教員を対象に研修会を実施。
- ◆「自立と社会参加」で求められるスキルや高等学校卒業後の進路、就労準備性の構造や「仕事と生活」の関係性について共有することができた。

2 『★第1回児童生徒交流会・★第2回児童生徒交流会』

- ◆各校における1学期の児童会・生徒会の活動内容等について交流し、富士中学校区における共通の取り組みについて提案、協議(あいさつ運動、募金活動など)した。2学期の児童会・生徒会の活動内容等を報告し合い、次年度の取り組みについて検討、協議した。
- ◆次年度は、各校園に児童生徒交流会として「エコステーション(リサイクル品を回収するボックス)」を設置し、SDG sの取り組みを進めていく。



○成果と課題

1 成果

- ◆各校における各部会の担当者が、学校の窓口となり交流後の連携に取り組むことができた。
- ◆生徒への支援や指導、家庭との連携が効率的・効果的に行えるよう、情報共有に取り組めた。
- ◆連携により、適切な就学指導と個に応じた教育支援のあり方が検討、協議、実践されている。
- ◆児童会・生徒会の取り組み内容や工夫について報告し合い、次年度の活動につなげることができた。

2 課題

- ◆道徳の授業における指導法と評価、人権教育推進における課題等を共有し、横の連携や縦のつながりを重視した取り組みを行っていく。
- ◆各学校園所における発達段階に応じた教育活動の在り方を検討し、生活面や学習面において9年・11年を見通した実践が必要である。
- ◆小中一貫教育におけるカリキュラムの作成。

藍中学校区

藍 中 学 校

藍 小 学 校

つつじが丘小学校

あいの保育園

三田つつじが丘認定こども園

みつば幼稚園

令和7年度 連携推進活動報告書

(藍) 中学校区

○ 本年度の中学校区における重点推進テーマ・取組内容

テーマ「夢や希望を語れる子の育成」～夢や希望を語ることができる力の育成のために～ ・社会的自立に向け、保護者との連携を図る（特別支援教育部会） ・自らの考えを的確に表現できる児童生徒の育成（学習連携・小中一貫教育部会） ・自らを律しつつ、他者を思いやる児童生徒の育成（生徒指導・特活部会） ・自分も相手も大切にしながら思いを伝えられる子（人権・道徳教育部会）

○ 活動内容

月日	時間	内容	参加者	場所
5月27日	1時間	・保幼小交流会（運動会練習見学）	1年生児童 あいの保育園年長園児 つつじが丘認定こども園年長園児	つつじが丘小学校
5月27日	1時間	・第1回長坂・藍中学校区就学前施設連絡会（あいの保育園・三田つつじが丘認定こども園・みつば幼稚園）	管理職 連携担当者	みつば幼稚園
6月5日	2時間	・授業参観 ・各分科会でテーマと目標決定 ・情報交換	管理職 各校園所連携担当者	つつじが丘小学校
7月29日	4時間	・人権研修 ・小中一貫教育研修 ・分科会中間報告	管理職 小中学校教員	藍市民センター
7月30日	2時間	・第2回長坂・藍中学校区就学前施設連絡会（あいの保育園・三田つつじが丘認定こども園・みつば幼稚園）	管理職 連携担当者 5歳児担任	みつば幼稚園
10月8日	2, 3時間目	・幼、中交流会（つつじが丘認定こども園、藍中）	中学3年生 年長園児	藍中学校
10月7日 ★	2時間	・藍中学校区小学校交流会	藍小・つつじが丘小 6年生児童	藍小学校
10月16日	2時間	・道徳・人権授業参観 ・研究協議	管理職 小中学校教員	藍中学校
10月28日	1時間	・保幼小交流会（ふれあいコンサート練習見学）	1年生児童 つつじが丘認定こども園年長園児	つつじが丘小学校
11月5日 ★	2時間	長坂・藍中学校区就学前施設5歳児交流会（あいの保育園・三田つつじが丘認定こども園・みつば幼稚園）	3園5歳児 管理職 5歳児担任 連携担当者	みつば幼稚園

11月10日	1時間	・第3回長坂・藍中学校区就学前施設連絡会（あいの保育園・三田つつじが丘認定こども園・みつば幼稚園）	管理職 連携担当者 5歳児担任	みつば幼稚園
12月1日	2時間	・特別支援学級小中交流会	管理職 小中学校教員 特別支援学校教員 小中特別支援学級・学校生	藍中学校
1月22日	2時間	・藍中学校区小学校交流会	藍小・つつじが丘小 6年生児童	つつじが丘小学校
1月22日	3時間	・中学校授業体験 ・入学説明会 ・部活動参観	管理職 中学校教員 小学6年生児童	藍中学校
1月29日	2時間	・授業参観 ・各分科会今年度の振り返り ・情報交換	管理職 各校園所連携担当者	藍小学校
12月～2月頃		・新入生の情報収集のため、小学校教員が次年度入学予定児童の在籍している各園所に訪問	小学校教員 各園所職員	やよい幼稚園 かるがも園 つつじが丘認定こども園 光の子保育園 あいの保育園 よこやま保育園
2月24日	1時間	・出前学活（つつじが丘小）	藍中学校教員 小学6年生児童	藍小学校 つつじが丘小学校

○ 具体的な取組について



○ 成果と課題

今年度、学校園所連携の成果として、第1回目で分科会ごとのテーマ設定及び計画を検討し、第2回目で振り返りを行った。特に、学力向上に関しては、三校で家庭学習の手引き見直しを図り、各校での指導に活かす取り組みを交流することができた。また、藍小、つつじが丘小の交流会を増やし二校の連携を強化できた。お互いの学校を訪問し交流することで、児童の主体的な活動の機会を増やし、児童だけでなく学校間での情報共有が深まった。さらに三園での取り組みでは、就学前の5歳児が交流することで、他園の園児同士が楽しく関わる経験ができ、就学への期待がより高まった。課題として、家庭学習の手引き等の見直しを図ったが、まだまだよりよい学習習慣や生活習慣が定着していない事が挙げられる。学校園所が連携し、スムーズな就学に繋げ、学びの連続性となるよう学習や生活の基盤となる習慣作りに向け、体系的な指導や支援を推進していく必要がある。

ゆりのき台中学校区

ゆりのき台中学校
あかしあ台小学校
学園小学校
ゆりのき台小学校
光の子保育園
認定こども園三田あさひ幼稚園
認定こども園湊川短期大学附属北摂学園幼稚園
神戸親和女子大学附属親和幼稚園
ほしのさと保育園

令和7年度 連携推進活動報告書

(ゆりのき台) 中学校区

○本年度の中学校区における重点推進テーマ・取り組み内容

テーマ『「夢」を描き、「未来」に向かって、「ひと」とつながり、前進する子』

- ・自ら学び、自分の生活に生かそうとする子
- ・優しく思いやりの心を持ち、人と関わろうとする子
- ・自分や人の、命・体を大切にする子
- ・目標に向かって、最後まで粘り強く取り組む子

★発達や学びの連続性の充実

★各部会における活動計画の実施（授業実践交流やカリキュラムの検討・作成、各校の研究発表会への参加等）

○活動内容

月日	時間	内容	参加者	場所
5・13	2時間半	第1回小中学校校長連絡会（1年参観）	小・中学校長	ゆりのき台中学校
5月中	1時間	各小学校運動会練習見学	各連携保幼園児	校区3小学校
6・2～6	7時間	トライやるウィーク	ゆりのき台中学校2年生・全連携学校園所	全連携学校園所
6・20	2時間	教頭・小中一貫教育推進連絡会	小・中教頭 連携担当	ゆりのき台中学校
7・3	2時間	第1回生徒指導小中連絡会	小・中学校生指担当	ゆりのき台中学校
7・8	2時間	第2回小中学校校長連絡会（参観）	小・中学校長	ゆりのき台小学校
7・15	1時間	6年薬物乱用防止教室（授業見学）	小・中学校保健担当者	ゆりのき台小学校
7・18	2時間	小中一貫教育 教育課程部会	小・中学校担当者	あかしあ台小学校
7・30	2時間	★小中一貫教育 特別支援教育②部会	小・中学校コーディネーター	ゆりのき台中学校
6・13、14	2時間	就学前学校見学会	希望する保護者・就学前児童	関係校区小学校
10・3	1時間	小中一貫教育 情報教育部会	小・中学校情報教育担当	教育委員会南分館
10月中	1時間	各小学校音楽会練習見学	各連携保幼園児	校区小学校
10・16	2時間	第3回小中学校校長連絡会（参観）	小・中学校長	学園小学校
10・15	2時間	小中一貫教育 人権部会	小・中学校人権担当	教育委員会南分館
10・31	5時間	中学校文化祭合唱コンクール審査	小中学校管理職・音楽担当	ゆりのき台中学校
12・4	2時間	第2回生徒指導小中連絡会	小・中学校生指担当	ゆりのき台小学校
11・20	2時間	ゆりのき台小学校研究会(学力向上部会参加)	中学校学力向上担当等	ゆりのき台小学校
11・29	3時間	学園小学校道徳研究会(人権部会参加)	小・中学校人権担当等	学園小学校
12・19	1時間	小中連絡会（養護教諭）	小・中学校保健担当者	広野市民センター
12～1月	2時間	各幼稚園と1年担任との懇談会	各幼稚園担当・各小1年担任・管理職	校区小学校
1・15	2時間	小中一貫教育 教育課程部会	小・中学校担当者	あかしあ台小学校
1・23	2時間	ゆりのき台中学校入学説明会	小学校3校6年生保護者	ゆりのき台中学校
1月中	2時間	各校6年生児童授業参観	小・中特支担当者	校区3小学校
1・30	2時間	★小中一貫教育 特別支援教育①部会	小・中特支担当者	ゆりのき台中学校

2・19	2時間	第4回小中学校校長連絡会（6年参観）	小・中学校長	ゆりのき台小学校
2・3	2時間	第3回生徒指導小中連絡会	小・中学校生徒担当	あかしあ台小学校
2月中	2時間	特別支援学級担任による引継ぎ	小中学校管理職・特支担任	校区3小学校
1～2月	2時間	★小学校入学説明会（児童との交流）	新1・5年生（1年生）	校区3小学校
2月	1時間	★小学1年生の授業見学	各連携保育園児	校区3小学校
2月～3月	1時間	各小学校への出前授業（英語）	6年・中学校英語担当	校区3小学校
3月上	1時間	★各小学校への出前授業（特活）	6年・中学校生徒指導担当	校区3小学校
3・27	1時間	新入生健康面引継ぎ	小・中学校保健担当者	教育委員会南分館
3月下旬	2時間	新入生（小6）情報交換会	小6担任・中学校生徒指導担当他	校区3小学校

※今年度の取り組みの中で、一層の連携推進となった内容に★印を入れてください。

○具体的な取り組みについて

- ① 年度当初の校長連絡会で、テーマの確認、小中一貫教育推進計画書の作成など、連携の方針の共有を図る。
- ② 校長連絡会での方針を受け、教頭・小中一貫教育連絡会で、今年度の各部会の窓口となる担当者の確認や各部会の具体的な推進の周知を図る。
- ③ 11の各部会(校長連絡会、教頭・小中一貫教育、生徒指導、教育課程、学力向上、特別支援教育①②、学校保健、情報教育、道徳・人権教育、外国語)で、それぞれ年間計画を立てて、授業参観や情報交流など小中一貫教育及び学校園所連携を進める。
- ④ 生徒指導、特別支援、学校保健の観点から、早期に園児・児童の情報交流を図り、保幼小の円滑な接続を図るとともに、中一ギャップの解消に努める。
- ⑤ 各校の研究会・公開授業などに積極的に参加する。
- ⑥ トライやる・ウィーク、出前授業、体験入学、各行事での交流等、園児・児童・生徒の交流を行う。
- ⑦ 学校園だよりの交流をする。

○成果と課題

- 校長連絡会や各部会での情報交換や、互いの行事参観、授業参観を行うことにより、様々な角度から、「それぞれの学校の取り組み」や「児童・生徒の状況」に関する理解が深まり、共通の課題をとらえることができた。
- 園児と児童の交流により、子ども同士の交流が広がり、園児においては、小学校という環境の変化による不安解消につながった。また、児童においては、交流することにより、次年度の新1年生に対して、上級生としての意識が高まった。
- 保幼小の連携で、運動会や音楽会の練習の見学を通じた効果的な取り組みができた。
- 一年生担任・管理職と各連携幼稚園との懇談会を持ち、保幼小接続カリキュラムに基づく、育てたい力を意識した保育・教育の実践やカリキュラムの交流ができた。
- トライやる・ウィーク実施により、園児・児童と生徒の交流ができた。また生徒会や吹奏楽部、希望者、希望ボランティアが、地域のイベントに積極的に参加する姿が見られた。
- 学校園所の連携については、各小学校区の組織体制のもと、日頃から学校園所で連携の取り組みがなされている。今後も小学校への円滑な接続ができるよう、継続して取り組みを進めていく。
- 今年度、小中一貫教育の推進の体制の構築と推進に向けて、各部会(11部会)にまとめ役を置いて、各部会の推進と充実を図ることができた。
- 校長連絡会での児童・生徒の授業参観に加えて、生徒指導部会、特別支援教育①、特別支援教育②、道徳・人権部会、学校保健部会、外国語部会等で授業参観を実施することができ、有意義であった。
- 教育課程部会では、担当者を中心に情報交流が進められ、教育課程上の課題などを共有することができた。時程や時間割の見直しの情報共有により、各校での工夫が参考になった。PTAや地域とのかかわり方についても交流できた。今後は学校独自の取り組みのよさと中学校区全体の中でのバランスをいかにとっていくかを考えていきたい。
- 情報教育(情報モラル含)において、カリキュラムの交流を進めた。特に情報モラルの指導についての情報交流が参考になった。今後は、交流を発展させ、小中一貫教育9年間の視点を持ち、共通のカリキュラムやICTを活用した教材の共有を進め、指導に差がでないようにしていきたい。
- 本年度作成した小中一貫教育推進計画をもとに、各部会が具体的な取り組みを進めているが、11の部会の開催状況や進捗状況を見ると、生徒指導など定期的な開催が定着している部会と年間一回のみの開催の部会がある等、その進捗状況には差がある。今後はオンラインでの開催も含め、年間2回程度は開催するなど、連携強化に努めたい。
- 保幼小連携、小中一貫教育12年の視点を持ち、計画的に保幼小中学校の教員が直接話し合う機会を設け、今後も「連携と接続」を意識し、学びの継続と積み上げに向けた実践事例を増やす取り組みを推進していく必要がある。